

一般質問

◆産業振興について

質問 飲食業や宿泊業等において、働き手不足や物価高騰が長期化している現状をどのように捉えているのか伺う。

答弁 コロナ禍前と同様に戻っていないことは認知している。今後は新たな取組など、ビジョンを含めてアドバースしながら支援していきたい。

質問 市内経済を循環させるため、プレミアム付き飲食券事業等の実施が今後必要と考えるが所見を伺う。

答弁 飲食に限定しての支援は重要であり、飲食店だけでなく材料を納入している業者をはじめ様々な波及効果が見えやすいと考えている。今後の展開を十分に検討していく。

質問 小安峡の観光資源を最大限に活かす施策が必要と考える。大噴湯遊歩道までのエレベーター等の設置について伺う。

答弁 これまでも検討してきたが、まだ判断には至っていない。ニーズを把握し今後の検討としていく。

質問 議会から政策提言を行った、地熱・ジオパーク・ゼロカーボンを活かした教育旅行誘

致の推進について伺う。

答弁 地域資源を活用した魅力ある取組により、教育の普及啓発、地元の経済的な発展や地域コミュニティの活性化へとつながられるよう誘致を推進したい。地熱・ゼロカーボンを活かし、新たに見学先や体験メニューを取り入れ、積極的な情報発信により、旅行先としての認知度向上を図っていく。

◆学校教育について

質問 中学校部活動の地域移行を段階的に進めるにあたっての今後の課題について伺う。

答弁 地域移行を受け入れていただける運営主体や指導者の確保が課題であると考えている。国や県、関係団体の動向を注視するとともに、生徒の利益にならないよう対応していく。



◆高齢者の生活支援について

質問 高齢者単身世帯や高齢者のみで構成される世帯の大きな問題である買物支援について市長の見解を伺う。

答弁 生活協同組合コープあきたによる食材配達や、株式会社セブンイレブン・ジャパンや株式会社ヤマザワに移動販売を行っていたいただいているほか、社会福祉協議会やJAこまち福祉センター、有償ボランティアなどによる買物等の生活支援も行っている。また、本市の公共交通の利用は、通院と買物が多数を占めている現状にあり、高齢者の方々からは路線や便数を増やしてほしいとの声がある一方、利用者の減少や交通事業者における運転手の担い手不足といった課題も抱えている。

引き続き、現在利用いただけるサービスの周知を図りながら、地域の事業者等との連携により、買物や通院など誰でも安心して利用できる交通手段の確保と生活支援に努めていく。

◆教育現場の諸問題について

質問 給食費無償化の実現は、最大に評価できる施策である

が、学校給食事業における食品ロスの現状をどのように捉え対策するのか伺う。

答弁 栄養の観点で食育を考え、和食や郷土料理も積極的に取り入れたいと考えており、児童生徒が食べやすいような味付けにしたり工夫をして、食べ残しが少なくなるよう努力をしている。

また、学級担任による給食指導や栄養教諭による食育の授業においても、好き嫌いをしないのでバランスよく食べることの大切さや、生産者と給食づくりに関わっている人への感謝の気持ちの育み、食べ残しをしないよう指導をしている。

今後もこのような対策を通して食べ残しを少なくし、食品ロスを減らすよう努めていく。

